

2026年2月9日

東急不動産株式会社
貝印株式会社

東急不動産と貝印、「住まいの価値」を食から再定義 「MY GRAND CHEF for BRANZ」2027年より順次提供開始 ～都市型マンションにおける上質な食体験と交流の場を創出～

東急不動産株式会社（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：星野 浩明、以下 東急不動産）と、グローバル刃物メーカーの貝印株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長兼 COO：遠藤 浩彰、以下、貝印）は、東急不動産の分譲マンション「BRANZ（ブランズ）」のサービス導入物件の居住者を対象に、著名シェフが赴き、完全予約制・カスタムメイドで上質な食体験を提供する新サービス「MY GRAND CHEF for BRANZ（マイグランシェフ フォーブランズ）」を導入することに合意し、提携を開始いたしました。

なお、本サービスは、2027年の「ブランズタワー大崎」への導入および2028年の「ブランズタワー横浜北仲」への導入を皮切りに、その後も順次展開を予定しております。



「MY GRAND CHEF for BRANZ」キービジュアル

本サービスは、利便性が高い一方で、家族が食卓を囲む時間が減少しがちな都市型マンションの課題に着目し、住まいの価値を「食卓の時間」から見つめ直すことで、“上質な食と交流の場”を取り戻すことを目的としています。居住者限定のプレミアムなプライベートダイニングを提供することで、外出することなく家族や友人が自然と集いたくなるような空間を創出。小さなお子様連れでは足を運びにくい名店の味わいや世界観をマンション内で再現する、という唯一無二の食体験を提供します。

また、今回のサービスでは、食材を最後まで使い切る調理法や規格外野菜の活用など、シェフの知恵を通じて、フードロス削減という社会課題の解決とブランド価値向上の両立を目指す取り組みも進めます。マンショ

ン内の多世代交流を促す「コミュニティ・ブリッジ」としての役割も担ってまいります。今後は、既存物件への拡大や、東急不動産が注力する広域渋谷圏※における早期体験機会の提供や、購入者同士のコミュニティ形成を目的としたイベントへの活用についても検討を進めてまいります。

※広域渋谷圏：東急グループが渋谷まちづくり戦略において定める、渋谷駅から半径約 2.5km のエリア。

■背景と狙い

東急不動産は、昨今の住宅価格の高騰や都市部におけるライフスタイルの多様化を背景に、住まいの価値を「ハード+ソフト」で差別化するブランド戦略「環境先進×未来資産」を推進し、入居後の満足度を高める「住み始めた後の暮らし心地」の提案を強化しています。一方、明治 41 年の創業以来「野鍛冶の精神」を掲げ、使い手に寄り添ったものづくりを続けてきた貝印は、近年、著名シェフとのネットワークを活かした「コト事業」にも展開を広げ、未利用・規格外野菜の活用や食品ロスに着目した Web サイト「やさしい切りかた辞典」の公開など、社会課題解決にも積極的に取り組んでいます。

今回、両社の持続可能な未来への思想が共鳴したことで、本サービスの提供が実現しました。本取り組みは、両社独自の試みであり、現時点での対象者は限定的ではありますが、両社のビジョンを具現化した新たな暮らしのあり方を提示するスタートとして、多くの方に知ってもらいたいと考えています。

■社会課題解決の取り組み

・都市型マンションにおける「食卓の時間」の再構築

本サービスでは、共用ダイニングや入居前イベントを最大限に活用し、家族や友人が同じテーブルを囲む特別な機会を創出します。心まで満たされる上質な食事体験を住まいの日常へと取り戻すことで、居住満足度の向上とコミュニティ価値の最大化を図ります。なお、本取り組みの効果を測る指標として、世帯や共用部での同時着席回数、参加者の満足度・再参加率、交流の継続意向、さらには居住者アンケートによる「食卓満足」スコアなどを設定し、定量的・定性的な検証を通じて持続的な価値向上に取り組んでまいります。

・フードロス削減への挑戦

完全予約制の導入と事前の詳細なヒアリングにより食材の必要量を適正化。プロの丁寧な仕込みと「使い切る」調理技術によって、徹底して食品廃棄の最小化を追求します。また、貝印グループの農業ベンチャーと提携し、品質には遜色ないものの市場に出回らない規格外野菜を積極的に活用します。それらをシェフの卓越した感性と技術によって価値ある一皿へと昇華させるとともに、環境に配慮した「持続可能な美食」のあり方を追求し続けてまいります。

■サービス概要

名称	MY GRAND CHEF for BRANZ (マイグランシェフ フォーブランズ)
対象	サービス対象の BRANZ 居住者様限定
提供場所	物件内共用ダイニング
基本価格	550,000 円～（税込）※食材・飲料のアップグレード等により別途お見積り
料理内容	厳選された季節の食材によるコース料理（5～7 品）
提供形態	シーンに応じたオーダーメイド形式（本格的なコース形式から華やかなパーティー形式まで対応可能）
連携シェフ	菰田 欣也 氏、原田 慎次 氏、笠原 将弘 氏 ほか、国内屈指の著名シェフ
導入物件	ブランズタワー大崎、ブランズタワー横浜北仲より順次提供開始予定
提供開始	2027 年より順次提供開始予定

■分譲マンション「BRANZ（ブランズ）」

東急不動産は、“住まい”を、人と街をつなぎ、豊かな暮らしを育む場と捉え、「BRANZ」では「環境先進」と「未来資産」の両輪で住まいづくりを進めています。生活利便施設などが整う快適な立地を基盤に、ZEH や緑化、生物多様性に配慮した「DESIGN」、構造の堅牢性、断熱性や災害時も安心な対災性などのレジリエンスを高めた「QUALITY」、入居後の管理やアフターサービス、減災・防災リスク対応、ソフトサービスまでを含めた「SUPPORT」の「3 つの価値」を磨き上げ、暮らし心地を支えるこだわりのものづくりを推進します。「BRANZ」では、住まう方同士が自然に交流できる共用空間や地域とつながるイベントやコミュニティ形成も支援します。本サービス「MY GRAND CHEF for BRANZ」に続き、アートやスポーツ、農園体験などの多彩で希少な体験の提供を通じて、入居後の満足度を高め続け、東急不動産ホールディングスグループ一体のアフターサービスで永く安心して暮らせる体制を提供します。

東急不動産のマンション
BRANZ
環境先進と、未来資産。

■各社概要

・東急不動産株式会社

東急不動産は、東急不動産ホールディングスグループの中核企業として、都市事業、住宅事業、インフラ・インダストリー事業、ウェルネス事業、海外事業など、幅広い領域で事業を展開する総合不動産ディベロッパー。長期ビジョン「GROUP VISION 2030」のもと、「環境先進×未来資産」を掲げ、環境への配慮とデジタル活用による新しい暮らしの提案を強化。都市事業においては「広域渋谷圏」での開発を推進し、住宅事業では分譲マンションブランド「BRANZ（ブランズ）」を中心に、ZEH の推進やコミュニティ形成の支援を通じて、持続可能な社会の実現と住まう方の資産価値の維持・向上に取り組んでいます。

本社所在地：東京都渋谷区道玄坂 1-21-1 渋谷ソラスタ

代表者：代表取締役社長 星野 浩明

設立日：1953 年 12 月 17 日

事業内容：都市事業、住宅事業、インフラ・インダストリー事業、ウェルネス事業、海外事業等

企業サイト：<https://www.tokyu-land.co.jp/>

 東急不動産

・貝印株式会社

1908 年、刃物の町として有名な岐阜県関市に創業。カミソリやツメキリなどの身だしなみを整えるツールやビューティーツール、包丁をはじめとする調理器具や製菓用品、医療用刃物など、生活に密着した刃物を中心に 1 万アイテムにもおよぶ商品を展開。商品の企画、開発から生産、販売、物流までの一連を行っているグローバル刃物メーカーです。

本社所在地：東京都千代田区岩本町 3-9-5

代表者：代表取締役社長兼 COO 遠藤 浩彰

設立日：1908 年 6 月

事業内容：カミソリ、包丁、ツメキリ、ビューティーツール、

医療用メスなどの製造・販売

企業サイト：<https://www.kai-group.com>

